

山田発

7年2か月不明者捜索



東日本大震災の発生から7年2か月。この日は宮古警察署員が宮古湾の海上と山田町船越の

浦の浜海水浴場に分かれて行方不明者の捜索を行いました。宮古警察署は毎月以降、奇数月に集中捜索を行うことにしています。(5/11 ニュース)

大船渡発

「大型サンマ船」出港

大船渡市の鎌田水産所属の大型サンマ船「第八三笠丸」199トンが北太平洋公海での操業に向け大船渡を出港しました。船員が船に乗り込むと岸壁に集まった家族は手を振りながら漁の成功と無事を祈りました。「第八三笠丸」は7月まで操業します。(5/12 ニュース)



盛岡発

釜石SW IBC杯快勝

悲願のトップリーグ入りをめざす釜石シーウェイブス。新チームとして臨んだきのうのIBC杯では東海大学と対戦し新戦力が活躍し、59対21で勝利しました。充実した新戦力を武器にIBC杯で2年ぶりの勝利。トップリーグ入りに向けて上々のスタートを切りました。(5/14 ニュースエコー)



大船渡発

「魚市場」にサバ水揚げ

大船渡市魚市場では定置網で獲れたサバやヤリイカが水揚げされました。夏の訪れを告げると言われるこのサバ漁。今年はいつもの年より1か月くらい早く水揚げが始まったということで、浜は本格化する漁に活気にあふれていました。(5/14 ニュース)



宮古発

室蘭の中学生が修学旅行

来月、宮古とフェリーで結ばれる北海道・室蘭市の室蘭西中学校の3年生およそ100人が修学旅行で宮古市田老を訪れ、防災について学びました。



生徒達は、震災遺構たろう観光ホテルで津波の映像を見た後、津波が乗り越えた巨大防潮堤を見学しました。(5/15 ニュース)

大槌発

町と大槌高校が協定締結

震災を後世に伝えていこうと大槌町と県立大槌高校が協定を結びました。災害の伝承活動に関わる自治体と地元の高校の協定締結は全国初。大槌高校は2013年からまちの移り変わりを記録する定点観測を続けています。町では来月10日にオープンする文化交流センターに学校の取り組みの成果として写真を展示するスペースを設けることにしています。(5.15 ニュースエコー)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから<http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122